

碓氷峠鉄道再生研究会 作業報告

2021年 2月 作業報告

作成日; R03.02.28

- ・先月に引き続き2月は、枝切り、灌木の伐採等、主にノコギリを使う作業を行いました。
線路側に枝や幹が張り出した木を冬場に伐採してます。
- 法面のコンクリート格子の中に生えた木も可能な範囲で伐採してます。
- 上下線を結ぶ階段付近を中心に、往時の信越本線の景観を蘇らせようとしています。
- 今月は、新たに2名が作業に参加しました。木を切る名人と大学生が協力してくれました。
- 碓氷線線路跡の保全に関心を持つ人が増えるのは喜ばしいことです。

作業日; 2月2日、12日、18日 延べ人数8人

	上下線接続階段付近の線路脇の立木を伐採	2月12日	階段の手すりが見えるようになりました。
作業前		作業後	
2	線路脇とコンクリート格子内に生えた雑木を伐採。	2月12日	下り線のコンクリート格子が見えるようになりました。
作業前		作業後	
3	架線柱に沿って大きな木が生えてます。	2月18日	架線柱と下り線のコンクリート格子が見えるようになりました。
作業前		作業後	
4	前回2月2日に伐採した木を裁断して処理しました。	2月18日	下り線コンクリート格子が見えて往時の景観が蘇りました。
作業前		作業後	